



1916 スチュードベーカー社モデルED ツーリングカー



製造情報

製造商	Studebaker
組付工場	ピケット
モデル生産量	未知の
総生産量	66,000 (完成車)
馬力	36
重量	未知の
当時売価	\$1,085 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

選択可能なスライド式のトランスミッション

6気筒エンジン

3つの前輪ギア

スチュードベーカー社の車

1852年以来、インディアナ州サウスバンドに拠点を置いていたスチュードベーカー・ブラザーズ・マニファクチャリング・カンパニー(スチュードベーカー社)の車は創立された1852年以来世界で最も多く生産されています。この会社は1902年に電気自動車を20台生産した事で自動車産業への控えめな参入を果たしました。しかし同社がガソリン車で成功したのは、1908年にエヴェリット・メッツガー・フランダーズ社(EMF社)との提携したことによるものです。EMF社はフォードの工場があるピケット通りのブロックの西側に位置していました。しかし1911年までにスチュードベーカー社は完全にEMF社を買収し、またフォードの工場がピケット通りからハイランドパークに移転した後、ピケット通りの工場の財産も買い取りました。そして1913年まで、スチュードベーカー社の車はピケット通りの工場で、また馬車はもともとのサウスバンドで生産が続けられました。1920年以降になると、自動車の生産も徐々にサウスバンドに移るようになりました。ついに同社は1933年にピケット通りの工場での車の生産を停止し、1936年には工場の不動産を売却しています。